

←「全面建て替え工事を受注された北海道札幌市・(俣)北一タカハシ建設様」からの情報提供

曹洞宗 松源寺
青森県西津軽郡
鯨ヶ沢町大字赤石町
字宇名原 117-3

鯨ヶ沢・かやぶき屋根の松源寺

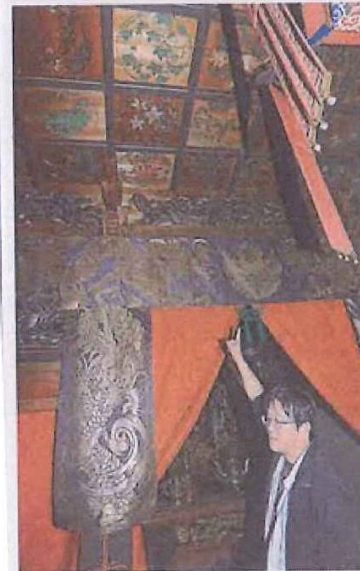
120年ぶり大改修、瓦に



解体作業が始まった松源寺。かやぶきの本堂は県内でも珍しいという

津軽藩と縁の深い鯨ヶ沢町赤石町の松源寺(曹洞宗、寺田元紹住職)の約120年ぶりの全面建て替えに伴う解体作業が6日、始まった。本堂は珍しい宝形造りのかやぶき屋根から、耐久性などを考え瓦ぶきとなる。町教委は建物の規模・構造を記録。今後は元の建物に使われた土台石なども調べ、寺院および地域の歴史を後世に伝える手がかりにする。(本間善幸)

町教委、構造など記録



松源寺の建物内。柱や彫り物など状態の良い物は新しい建物に引き継がれる

明治中期の火事で焼失後に建てられた現在の建物は雨漏りなど傷みが激しく、かやぶが破れた箇所から野生ザル5、6匹が侵入し屋根裏にすみ着いたほど。約5年前から建て替えの話が持ち上がった。本堂、位牌(いはい)堂は年内に解体され2014年着工。15年には庫裏の改修が行われ彫り物などを可能な限り再利用する。完成後は現在と同規模(約千平方メートル)になる。全面改修は明治以降初めてで工事費約3億5千万円は檀家(だんか)からの寄付で賄う。調査に協力する日本建築学会会員の中村隼人氏(右手県)は現在

H24.10.10-14
【鯨ヶ沢町-歴史展】
展示された石見焼
はんど



浜田高校・阿部志朗教諭
提供の資料



北前船がもたらした交易品の一つ石見焼の水がめ

最終日の14日は駅前広場とショッピングセンター・パル駐車場で同町の特産品を、PRも兼ねて販売する。

松源寺の建物内。柱や彫り物など状態の良い物は新しい建物に引き継がれる

松源寺の建物内。柱や彫り物など状態の良い物は新しい建物に引き継がれる

町教委の中田書矢主任学委員は「老朽化で建て替えはやむを得ないが、地域の暮らしとともにあった建物。住民が歴史を振り返る材料として記録に残しておきたい」と調査の意義を強調した。



歩み知り町に愛を



写真・古文書など200点 14日までの展示

町教委は「老朽化で建て替えはやむを得ないが、地域の暮らしとともにあった建物。住民が歴史を振り返る材料として記録に残しておきたい」と調査の意義を強調した。

物資がもたらされた。その一つとして鳥根県西部で明治、大正期に生産された町教委所蔵の「石見焼」の水がめ2点を展示。町教委の

下段「歴史展の記事は浜田高校・阿部志朗教諭」からの情報提供

H27.6.5 ×%? w



7÷ Ã%4:İ è Ç ; N

H27.6.24×%? w



B¼H27.6.24×%? w



H27.8.10 ×%?wE

×%? f j>8 (< d í#° < d &k • í í M ± • Á © O¿

H27.8.11¼ #° d) œ